

3年



「スタンプ・スタンプ・つづくお話」(紙版画) くりかえしを生かして。



「ギコギコトントン何になるかな？」(木工作)
木切れなどの形を生かして発想します。児童は、初めてのこぎり、金づち、釘、錐などを使いました。



「だんボールで何つくろう」段ボールの材料の特徴を生かしてつくります。



「春の花さいた」鉢植えの花をよく見て、触れて、香りをかいで、感じとったことからえがきました。



「柏木一丁目一番地」各教室に導入された大型モニターが入っていた段ボール箱の部品に、思い思いの花の絵をかき、立てたり組み合わせたりして街にしました。

4年



「ここにいるよ」木工作 自立する想像の生き物をつくりました。自立する構造を実現するためには、木工作にかかわる技能も、どのように組み立てるかなどの論理的思考も重要となります。



↑「絵の具のさんぽから」
絵の具によるいろいろなモダンテクニクを経験し、自分でつくった色紙でコラージュして絵をつくった。

ノ「土と炎のワンダーランド」(焼物) ガラスは水の表現です



「ひみつのすみか」多くの人が座ったり寝たりしましたが、壊れませんでした。被災地で使ってほしいという児童の思いがありました。



「春の花さいた」(3・4年共通)



「ファッションショーをしよう」衣装をつけ、図工室につくったランウェイを歩き、ポーズをとり、ファッションショーをしました。

昼は畳んで椅子に。内部がトラス構造で丈夫です。新聞紙入り布団はあたたかく感じます。

